

鬼怒テクノ通り希少動植物種モニタリング検討会

第17回 議事録要旨

1. 日 時: 平成18年8月8日(火) 14:00 ~ 16:00

2. 場 所: 警察共済施設 アーバンしもつけ
栃木県宇都宮市昭和3 - 2 - 8

3. 検討内 1. 第15回議事録要旨確認
容:

2. 現地調査結果(平成17年12月-18年7月)報告

- オオタカ
- サシバス
- 貴重植物
- ミヤマウズラ
- オオムラサキ

3. 今後の工事計画提案

- 真岡バイパス
- 真岡北バイパス

4. 今後の保全対策・調査計画提案

5. 鬼怒テクノ通り保全計画書提案

6. その他(今後予定確認)

4. 議事要 1. 第15回検討会議事録要旨
旨: ○ 了承された。

2. 現地調査結果

- 今繁殖期、A地区南、B地区、B地区北のサシバは途中で繁殖に失敗したと推察される。次繁殖期の調査では、失敗した場合にその時点がなるべく判断できるように、早期から繁殖に影響が少ないよう配慮しつつ、繁殖状況を確認することを検討してもらいたい。

3. 今後の工事計画

- C地区の調節池はH18 オオタカ営巣木に近接しており、繁殖期は直近箇所での工事を避けるよう工程の工夫をしてもらいたい。

4. 今後の保全対策と調査計画

- 了承された。

<12月までの保全対策と調査計画>

貴重植物： 保全対策 仮移植ヤード内の除草 8月、
濁水排出防止対策 通年調査 8月、9月

ミヤマウズラ： 10月下旬、12月初旬

オオムラサキ： 11月末～12月の間 計1回

5. 鬼怒テクノ通り保全計画書(案)

- 現時点における鬼怒テクノ通りの保全計画書(案)の内容は了承された。
- 本案を県環境部局へ報告し、了承された上で成案とする。
- A地区の猛禽類については、平成19年度から22年度までの間、主たる影響の発生は真岡IC周辺開発や北関東自動車道と想定されるため、これらの事業者が調査・保全対策を実施することで問題はない。調査の実施にあたっては、これまで行ってきた調査・保全対策との整合性が担保されるよう、十分に協議してもらいたい。
- 環境影響評価終了時点での保全計画については、過年度の資料を再確認して、事務局で相互の関係等を整理し、内容を検討する。

6. その他

- 仮移植を行っているミズトラノオとサクラオグルマについて、本移植場所は管理上の問題等を考慮し、A地区の用水や隣接する既設調整池内も候補とし、真岡市とその可能性を協議する。
- 本移植に際しては、地元有識者と移植場所や方法など相談しながら実施してもらいたい。
- 調査により個体数が変動しても、その点についてはあまり重視せず、移植・移動先の土地利用の維持の担保や保全対策箇所の環境の維持を重視して、調査結果を評価する。
- 第19回検討会は、11月末から12月初旬に開催とする